

資料 1

平成19年度厚生労働科学研究報告書 (C型慢性肝炎の治療ガイドラインについて抜粋)

厚生労働科学研究補助金 肝炎等克服緊急対策研究事業(肝炎分野)
「肝硬変を含めたウイルス性肝疾患の治療の標準化に関する研究」
(主任研究者:熊田博光先生)において、C型慢性肝炎の治療ガイドラインの補足として、以下の記載がなされている。

「 表7. C型慢性肝炎の治療(ガイドラインの補足)
1. 1b、高ウイルス症例へのPeg-IFN + Ribavirin併用療法、投与期間延長(72週間投与)の基準:
投与開始後12週後にHCV RNA量が前値の1/100以下に低下するがHCV RNAが陽性(Real time PCR)で、36週までに陰性化した例(※)では、プラス24週(トータル72週間)の投与期間延長が望ましい。」

(平成19年度研究報告書から関連部分抜粋)

(※) Late Virological Responder(LVR、投与13週以後のHCV RNA陰性化例、難治であるC型慢性肝炎ジェノタイプ1b型高ウイルス量症例の中でもさらに治療への反応性が良くない症例)